

6. 公害苦情

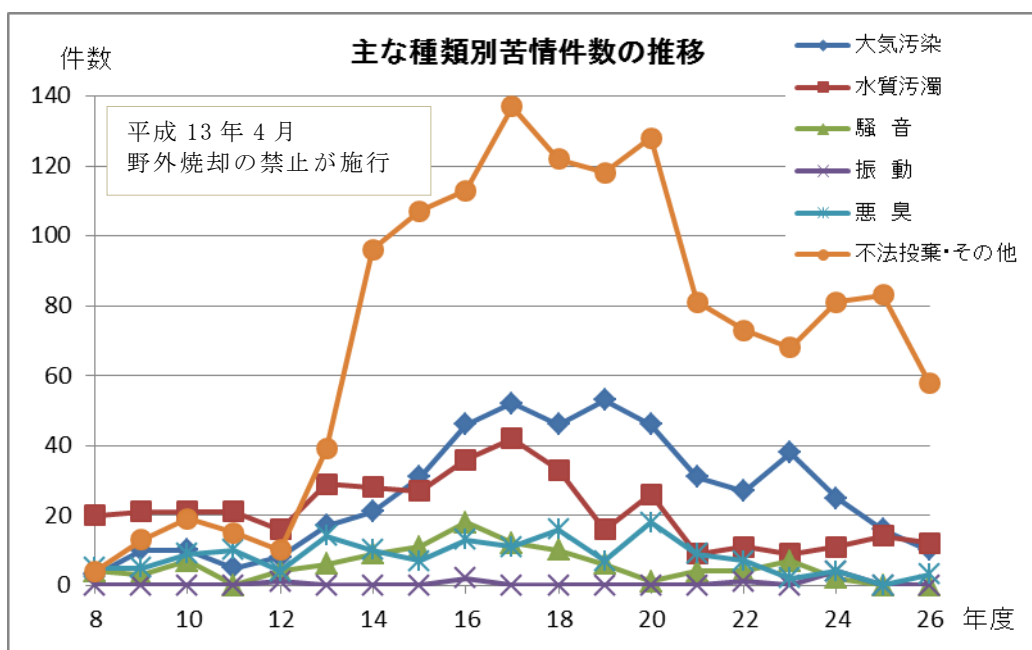
(1) 苦情件数の推移

平成 26 年度に受け付けた公害苦情は合計 83 件で、前年度に比べ、やや減少しました。

平成 13 年度の法改正による野外焼却の禁止に伴い、不法投棄や野焼きの苦情が増加していましたが、苦情ピーク時の平成 17 年度と比較すると、野外焼却及び不法投棄に対する苦情が半減しており、苦情件総数が約 3 割まで減少しています。

公害苦情件数の推移

年度	公害苦情相談件数 (件)	対前年度増減率 (%)	平成 17 年度対比 (%)
26	83	△ 26.5	32.3
25	113	△ 11.0	44.0
24	127	2.4	49.4
23	124	0.8	48.2
22	123	△ 8.2	47.9
21	134	△ 38.8	52.1
20	219	9.5	85.2



平成 13 年 4 月より野外焼却が禁止されて以来、違法焼却ではなく例外規定として認められている野外焼却についても苦情が寄せられています。件数は減少傾向にあるものの、依然として多くの苦情があります（大気汚染として分類）。

また、不法投棄の件数は 10 年前をピークに減少傾向にあります。年間 60 件近くの苦情が寄せられています。

次に多い苦情は水質汚濁に関するものです。水質基準は満たしているが、色や泡等、通常の変化から苦情が寄せられるケースが増えています。

① 典型7公害

平成26年度の公害苦情（83件）のうち、「典型7公害」の苦情件数は25件（全公害苦情件数の30.1%）で、前年度に比べ30件減少しました。平成26年度の典型7公害の苦情を種類別にみると、水質汚濁12件（典型7公害苦情件数の48%）と最も多く、次いで大気汚染10件（40%）となっています。

大気汚染の苦情の多くは、野外焼却に関するものでした。違法焼却ではなく例外規定として認められている野外焼却についても苦情が寄せられています。

② 典型7公害以外

廃棄物の不法投棄、害虫の発生など「典型7公害以外」の苦情件数は58件（全公害苦情件数の70%）で、多くが廃棄物の不法投棄に関わるものでした。

区分 年度	典型7公害							典型7公害以外		総数
	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	地盤沈下	廃棄物投棄	その他	
26	10	12	0	0	3	0	0	58	0	83
25	16	14	0	0	0	0	0	80	3	113
24	25	11	2	4	4	0	0	78	3	127
23	38	9	7	0	2	0	0	68	0	124
22	27	11	4	1	7	0	0	68	5	123
21	31	9	4	0	9	0	0	71	10	134
20	46	26	1	0	18	0	0	120	8	219

※典型7公害：大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭、土壌汚染及び地盤沈下